

# 中央地域センター さくらまち通信

第6号

平成31年3月

長崎市中央地域センター  
地域支援室（まちづくり支援係）発行  
長崎市桜町2番22号 TEL 829-1418

中央地域センター管内人口 175,800人（男 79,750人 女 96,050人）  
世帯数 92,703世帯（平成31年1月末日現在）

※「さくらまち通信」は、原則、中央地域センター管内の小学校区へ配布しております。

少しずつ暖かくなり、桜の便りももうすぐ届きそうですね。

中央地域センターから地域の情報をお届けします！！

## 臨時開庁のご案内

3月中旬から4月上旬は窓口が大変混雑します。そのため次のとおり中央地域センターを臨時開庁いたします。平日に来庁できない方にも便利です。ご利用ください。  
3月24日、3月31日、4月7日（いずれも日曜日）  
8:45～17:30  
詳しくは広報ながさき3月号や長崎市HPをご覧ください。

## 「十善寺龍踊会が2019長崎ランタンフェスティバルを盛り上げました」

2019長崎ランタンフェスティバルが2月5日～2月19日に開催されました。長崎新地中華街をはじめ、浜市、観光通りなど市内中心部に約1万5千個にも及ぶ中国ランタンなどが飾られ、長崎の街は極彩色の灯で彩られました。その中で、華を添えるイベントとして「龍踊り」を披露し、多くの方を魅了した十善寺龍踊会の皆さんにお話を伺いました。



龍体の長さはおおよそ20メートル、重さは約120キロ！！10人の龍衆（じゃしゅう）とよばれる担ぎ手と、月を表す金色の玉を持つ玉使いの総勢11人で操る龍は、まるで生きているかのよう。

十善寺龍踊会は、県内外のイベント、各種コンベンションや歓迎行事でのアトラクション、福祉施設への慰問など、様々なシーンで「龍踊り」を披露する団体です。その中でもランタンフェスティバルでの披露をメインとしており、直前の稽古には気合が入ります！連日、子ども（楽器や子龍を担当）から大人まで50名以上のメンバーが集まり熱心な稽古が行われていました。



## 「つながる「まち」と「ひと」」vol.3

～高齢者ふれあいサロンを通した「まち」と「ひと」のつながりをご紹介～

NPO法人 環境保全教育研究所（通称：へんちくりん）の代表理事を務める豊田さんは、里山保全・自然体験・まちづくり支援といった活動を行っています。一方、白木自治会の小柳会長は、高齢者サロンの運営を行う中で、「自分の都合がつかないとサロンが開催できない」などの悩みをもっていました。自分だけではどうすることもできなかった小柳会長が、以前より白木町の地域活動に参加していた豊田さんに話をしたことにより、まちづくり支援事業という形で、白木町の高齢者ふれあいサロンの運営を「へんちくりん」が支援することになりました。



12月はみんなで門松作り

豊田さんは「へんちくりん」の活動で得たノウハウを活かし、竹を使った門松作りなど新しい内容をサロンで実施しました。小柳会長の悩みも豊田さんが関わることで解決。参加者が増え、笑顔の絶えない楽しいサロンになりました。参加者の皆さんは、お喋りを通して豊田さんに人生の様々なアドバイスを送ることも。お互いを信頼した、素敵な関係が築かれています。

### まちづくり支援担当の感想

ほんわかとした豊田さんの雰囲気と、様々な提案を受け入れる小柳会長の柔軟性がマッチした白木町では、今後も参加者自身が楽しめる活動が続いていきそうです♪

☆まちづくり支援係のHPでは、「つながる「まち」と「ひと」vol.3」全文を掲載！豊田さんと白木町のつながりの強さをぜひご覧ください♪アクセス方法はこちら☆

中央地域

まちづくり

検索

または



# 今回は「わがまちキラリびと」大特集！ 様々な分野でご活躍の方をドーンとご紹介します♪

## 「わがまちキラリびと」Vol.4

～人が大好き＋遊びが大好き＋人の世話好き＝みんなと明るく楽しく～

第4弾は長崎県赤十字芸能奉仕団委員長として、とにかく何でもこなす明るく楽しいパワフルな湯川美智子さんにお話を伺いました。



現在の主な活動だけでも、1. 病院でのコンサート 2. 老人福祉施設での演奏 3. 長崎市赤十字奉仕団ふれあい交流会での演奏 4. 認知症カフェや高齢者サロンでの演奏・ゲーム・折り紙 5. 敬老会での演奏 6. 老人憩の家さくら荘で開催される老人会演芸大会での演奏 と盛りだくさん。高校3年生の時に青少年赤十字奉仕団で活動したことをきっかけに、大正琴やオカリナの演奏、手話やゲームなど、その多彩さを地域活動に活かされています。

活動の魅力は自分が楽しいこと！昔から“人の世話好き”だったので、赤十字奉仕団の活動はピッタリでした。

## 「わがまちキラリびと」Vol.5 ～今よりもっと住みよいまち 助けあい協力しあえるまちへ～

第5弾は鳴滝町西部自治会 副会長 とてもおしゃべり好きでパワーみなぎる永田美知子さんにお話を伺いました。

永田さんが地域活動に関わるようになったのはご両親亡き後、平成21年から。父親の代からお店を構え、地域のみなさんに幼い頃からとても可愛いがられた永田さんは「お世話になった地域のみなさんが年を取っていく中、少しでも地域の発展に協力することが、可愛がってもらった方々に対するいくらかの恩返し」との思いで自治会役員を引き受けたそうです。イベントの企画や司会も自ら楽しんでおられる姿が印象的です。



地域の団体の役員同士は日ごろからとても仲が良く、何事も連携して対応しており、役員以外の地域の人たちもみんな仲間です♪

## 「わがまちキラリびと」Vol.6 ～できる人が、できる時に、できるだけ～

第6弾は伊良林地区で子ども達を見守る地域のお父さん達「伊良林おやじの会」のみなさんにお話を伺いました。



今年で13年目を迎える「伊良林おやじの会」では、年間を通して親子で楽しめるイベントが企画されます。

例えば12月には、お正月に門松を飾る伝統を子ども達に伝えるために、門松づくりを行います。朝、竹を切り出しに行くところから始まり、完成した門松は子ども達の安全に配慮された場所にしっかりと固定されます。新たな年を迎えた1月には鬼火焚きとあわせて餅つきも実施。つくたての餅が振舞われ、今では地域の多くの子ども達が楽しみにしている伊良林地区の新年行事となっています。

「伊良林おやじの会」の最大の魅力は毎月定例会後に実施している懇親会！居心地がよいので自分の子どもが伊良林小学校を卒業しても参加してくれるお父さんも多くいます。地域のお父さん方や学校の先生方が気楽に集まり、いろいろな話で盛り上がります！

### まちづくり支援担当の感想

好奇心旺盛で、明朗快活、毎日を生き生きと過ごされている湯川さん。人と人の出会いをとても大切にする永田さん。お父さん同士が楽しみながら地域の子どもの見守り続ける「伊良林おやじの会」のみなさん。どなたも仲間と楽しみながら活動をされていました。みなさんの今後の活躍が楽しみです！

☆まちづくり支援係のHPでは「わがまちキラリびと」全文を掲載！湯川さん、永田さん、伊良林おやじの会のみなさんそれぞれの活動の様子や取り組みに対する思いをまとめていますので、ぜひご覧ください☆

※アクセス方法はこちら※

中央地域

まちづくり

検索

または

